

NPO 法人イエロー・エンジェルは、次代を担う若い人達の 一途な頑張りに対し、心から応援し続けたいと思っています。

2018年は、第10回を迎える《青少年に楽器を贈る運動》を公募の上、実施しました。学校予算の諸事情により、楽器が不足しているとお申込みいただきました応募校の中から、審査・検討の末、今回、応募対象となりました中学校の音楽部、吹奏楽部、管弦楽部の全126校について、計254点の楽器類をお贈りできました。

これまでは、宗次ホールの主催コンサートでも、教授・卒業生のご出演等によりご縁のある、愛知県立芸術大学 音楽学部 新校舎の完成を記念し、多くの楽器を贈呈しています。また、奨学制度により芸術、スポーツ留学生他、様々な分野で目標を追い続ける人達に奨学金を提供しています。

さらには、東京藝術大学 改修工事や桐朋学園音楽ホール建設への寄附を行う等、その支援活動は全国に広がっています。

第10回“青少年に楽器を贈る運動” 2018年7月15日(月)に贈呈式を執り行ないました。

宗次ホールにて/愛知県名古屋市

第10回において公募対象となりました、愛知県内の中学校の音楽部、吹奏楽部、管弦楽部には、日頃の活動状況、楽器の不足状況等を詳しく把握するため、細かな応募アンケートによりお申込みいただき、部活顧問の先生へのヒヤリング、審査・検討を繰り返し、全中学校126校について、計254点の楽器類を贈呈しました。



NPO 法人イエロー・エンジェルの宗次理事長によるご挨拶、お話し



愛知県吹奏楽連盟 斎藤理事長によるご挨拶



名古屋市立猪子石中学校 吹奏楽部へ贈呈楽器の授与



日進市立日進中学校フルート四重奏による記念演奏



大治町立大治中学校木管五重奏による記念演奏



スペシャル・ゲスト
ティモシー・カーター (Cl)
向田 成人 (Pf) トーク & 演奏

楽器贈呈10年「ココイチ」宗次さん

愛知の中小高400校に計1900点

クラシック音楽ファンでカレーチエーン「Coco老舗」創業者の宗次徳二さん(68)が、自ら設立したNPO法人を通じて愛知県内の中小高校の吹奏楽部などへ楽器を寄贈する活動を続けて10年になった。名古屋・栄の宗次ホールで7月に今年度の贈呈式があり、公募した中学校126校に計254点の楽器(1億円相当)を贈った。

宗次さんは2008年に活動を始め、中学校の吹奏楽部の教員から「予算が不足して必要な楽器がそろえられない」と相談を受けたのがきっかけ。実際に学校へ足を運び、ティンパニの練習で丸いずらに麻布団を破らせていたり、指使いのまわただけでクラリネットの練習をしたりする生徒を見て支援を決めた。10年間で、400校近くに約1900点



贈呈式で吹奏楽部の生徒に楽器を贈る宗次徳二さん(右端)＝名古屋市港区

(7億円相当)を届けた。贈呈式で宗次さんは「行政にできないのなら民間の経営者の出番。目標に向かって努力する学生を賞するとうれしくなる。一人でも多くの学生が胸向きの人生を送れるように願っている」と話した。愛知県吹奏楽連盟の斎藤和徳理事長は「コンクールなどで演奏に音が交わってきた。生徒の努力以上に、新しい楽器を贈ることが大きな要因だ。生徒たちは日々の練習を積み重ね、感動の裏打ちを演奏で伝えてほしい」と話した。(朝刊編集)

朝日新聞 地域総合面 平成30年8月1日 掲載

東京藝術大学 音楽学部 平成25年 改修工事への寄付 東京藝術大学にて



東京藝術大学 音楽学部4号館、第6ホールの改修にあたり、音楽を学ぶ学生達にとって、より良い環境となる事を願い、その費用の一部を寄付させていただきました。ホールの他、打楽器練習室や古楽練習室などもリニューアルされました。

竣工式典では、ファンファーレから始まり音楽学部教授によるソプラノ独唱の演奏。26日より1週間にわたり、竣工記念演奏会も開催されました。



(左) 宗次理事長 (右) 宮田学長

新進演奏家国内奨学金制度 平成28年度 奨学生決定 東京・霞ヶ関ビルにて

「次代を担う優秀な演奏家が音楽の道に専念できるように」と日本演奏家連盟(東京)を通じて設立された宗次エンジェル基金(奨学金制度)は、厳正な審査の結果、本年度の奨学生を決定いたしました。

今までスポーツ・音楽・学問に一生懸命がんばっている国内・海外の若い人達に奨学金支援を行ってききましたが、これは全国の演奏家を志す若い人達への制度です。



奨学生決定式の様子

桐朋学園、木造音楽ホール建設費寄付

桐朋学園大学にて

5月に発表された桐朋学園大に建設予定の「桐朋学園宗次ホール(仮称)」の総工費約21億円のうちホール部分8億円を寄付させていただきました。

このホールは東京・新国立競技場を手掛ける建築家隈研吾さんによる設計で、音楽ホールでは世界で初めて、強度の高い木製パネル「CLT」を使用されます。

隈さんは発表会見で「温度や湿度の変化に応じて伸縮を繰り返すのが、木を使うメリット」と話されました。ホールの座席数は約300で、2020年12月に完成する予定です。



桐朋学園宗次ホール(仮称)の完成予想模型(撮影:林喜代種)



完成予想模型を手に(撮影:林喜代種)



街中が美しくなることを願って、広小路通りの美化・清掃をしています。

人と街にやさしい イエロー・エンジェル通り (勝手に名付けた通称?ですので 一般には、通用しません。)

地下鉄12番出入口から東新町交差点迄の413m ※一部が、花の植込みをした場所です。



パンジーからハイビスカスへ植え替えました。今夏も大輪の花をたくさん咲かせる予定です。

↓ 中区役所前の様子。梅雨が明け、盛夏に向けて咲き揃うのが楽しみです。

春には、パンジーが咲き揃った「イエロー・エンジェル通り」でしたが、ハイビスカスに植え替え、夏の季節へ衣替えをいたしました。歩道を歩く方や、車からふと見た時にも、なるべく綺麗に見えるよう、植える向きに注意しながら、地下鉄12番出入口から順に植え替えを行いました。これからは、夏に向け水やりの毎日です。



↑「広小路東栄」交差点 栄駅側より東向き方向



朝の清掃等を行うイエローエンジェルFCクラブ 本気でやる掃除は座禅以上に効果あり



毎朝7時から8時は必ず清掃活動をしています。どなたのご参加もご自由です。お仕事前にも、または休日の朝に気持ちのいい汗をかきませんか? お待ちしております。

→FCクラブ (ボランティア) の長谷川さん 昨年は36511 参加です。



↑排水溝掃除

↑ジェット噴射機で道路そうじ

宗次理事長の夢「街中が花いっぱい！」

名古屋市中区上園町「花のまちづくりの会」へ、ペンダスを2,000株ご寄付いたしました。



↑届いたペンダスを会の仲間たちみんなで植え込みました。



町内の皆さんが植え込み。「街中が花いっぱい！」の1歩として通りゆく人々の目を和ませ、優しい気持ちになれますように。

昨年7月のはじめに植えた花は、9月下旬には綺麗に咲きそろっています。

